

公立大学法人宮崎公立大学 令和3年度第1回役員会 議事要録

日 時	令和3年6月23日（水）10：00～11：40
場 所	宮崎公立大学 特別会議室
出席者	二見理事長（議長）、有馬副理事長（学長）、上原理事、藤元理事、長濱理事 近藤監事、清家監事
配付資料	<p>【資料1】 令和2年度業務実績報告書（案）</p> <p>【資料2-1】 令和2事業年度事業報告書</p> <p>【資料2-2】 令和2事業年度財務諸表</p> <p>【資料2-3】 令和2事業年度決算報告書</p> <p>【当日配付資料】 宮崎公立大学新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動指針（BCP）</p>
議 事	<p>1 あいさつ</p> <p>昨年度は新型コロナウイルスへの対応という経験したことのない苦しい判断を迫られることの多い年度であった。混乱の中ではあったが、学びを止めないとの思いを共有しながら取り組み、簡素化したとはいえ卒業式を挙行し、193名の卒業生を送れたことは感動であった。</p> <p>授業に関しては、今年度は対面授業を基本とするという方針の下、5月の連休明けから、感染対策を講じながらの対面授業を開始したところである。授業をする上での先生方の不安解消のために事務局には苦勞をかけたが、よく対応していただいたと思っている。</p> <p>本学独自の感染拡大防止のため行動指針も策定しましたので報告させていただく。さらに、ワクチン接種に関して大学における職域接種も求められており、保健所とも協議をしながら検討しているところである。</p> <p>今春の卒業生の就職に関しては、就職希望者171名のうち164名、就職率にして95.9%だった。</p> <p>また、入学者確保については、既に高校訪問や進学ガイダンス等への参加を行っており、今後、感染症拡大防止を図りながら、オープンキャンパス等を実施するとともに、様々な媒体を通して情報を発信し、志願者増や意欲ある学生の安定的確保に努めていきたいと考えている。また、昨年度は実施を見送ったが、一般選抜前期日程の学外の試験会場の設定を行う予定である。</p> <p>本学の役員会でお諮りした「教育内容を検証するための有識者会議」の1回目を終え、それぞれの分野や立場からご意見をいただいた。さらに、2回目、3回目と深めていきたいと考えている。</p> <p>本日は、第3期中期計画のうち令和2年度の実績や決算などをご審議いただくことになる。ご承認いただいたものを宮崎市に提出することになる。よろしくご審議の程お願いしたい。コロナ禍であるが、大学も地元志向が高まるとの予想もある。今後とも地域に開かれた魅力ある大学としてみなさま方のお力添えをお願い</p>

	<p>いしたい。</p> <p>2 審議事項</p> <p>(1) 令和2年度業務実績について 【資料1】に基づき説明があり、審議の上、原案どおり了承された。</p> <p>(2) 令和2事業年度事業報告について 【資料2-1】【資料2-2】【資料2-3】に基づき説明があり、審議の上、原案どおり了承された。</p> <p>3 報告事項 なし</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 宮崎公立大学新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動指針（BCP）について 【当日配付資料】に基づき、本学学生の新型コロナウイルス感染者の発生の経緯と新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動指針（BCP）について報告があった。</p> <p>(2) 教員の新規採用について 教員の新規採用（英語科教育法、データサイエンス、国際政治学、出版文化論）について報告があった。（資料なし）</p> <p>(3) 団体役員賠償責任保険について 団体役員賠償責任保険の加入及び保険料について報告があった。（資料なし）</p>
--	--